



## 貴重な文化財を火災から守ろう

「文化財防火デー」は、昭和30年に定められ、今年（平成20年）で54回目を迎えます。昭和24年1月26日早朝、奈良県の法隆寺で解体修理中の金堂が炎上し、55㎡を全焼するとともに、白鳳時代（7世紀末から8世紀初期）に描かれ、世界の至宝とさえ言われた十二面壁画が焼損し、社会的に大きな衝撃を与えました。その後も文化財の火災が発生したため、「先人たちが残した文化財を火災から守ろう」という世論が高まり、昭和25年に文化財保護法が制定され、さらに昭和30年から毎年1月26日を文化財防火デーとし、全国的に文化財防火運動を展開して、文化財を火災から守ってきました。

常陸大宮市消防本部では、毎年1月に市関係者と市内の文化財を巡廻し防火指導を行い、文化財の火災予防を推進しています。



## 防災ボランティア週間

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災では、全国各地からボランティアが駆けつけ、その活動の重要性が社会的に広く認識されました。同年12月の閣議において防災ボランティア活動への理解を深めるため、全国的に毎年1月17日を「防災ボランティアの日」、15日から21日を「防災ボランティア週間」とすることが定められました。

災害に備え、地域の防災力を高めていくには、平素から地域住民、事業所、ボランティア等が連携、協力した防災訓練を実施しておくことも大切です。

常陸大宮市では平成20年度に茨城県・常陸大宮市総合防災訓練が実施されます。この訓練はボランティア及び地域の協力がなければなりません。ぜひともこの機会に参加し、防災ボランティア活動や身近な各種震災対策について考えてみてください。



## 救急豆知識 鼻血がとまらない！

鼻血が出ると後頭部を叩いたり、顔を上に向けたりする人がいますが、後頭部を叩いても止血効果はありません。また、顔を上に向けると血液が喉に流れ込み、呼吸困難や気道閉塞に陥る危険がありますので、正しい応急手当を覚えましょう。

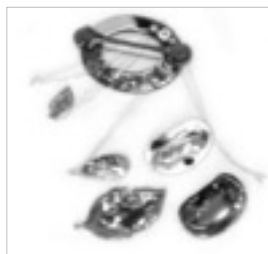
### 応急手当の方法

- 寝かせないで座った状態にして額を下げて血液が喉に流れ込まないようにする。
- 喉に回った血液は、むせないように口から吐き出させる。（血液を飲み込むと気分が悪くなることがあります。）
- 親指と人差し指の2本で両側の鼻翼を15分位押さえて圧迫止血します。
- 指で押さえても止まらない時は、清潔なガーゼまたはティッシュを丸めて両側の鼻孔に詰めて、再び両側の鼻翼を指で押さえる。
- それでも止まらないときは専門医か救急医に診てもらいましょう。

今回は、御前山地域の七宝焼教室と押し花教室に所属している皆さんの作品をご紹介します。

### 七宝焼教室(会員7人)

代表 堀江 幸子 ☎55-3782



会員の皆さんの作品(アクセサリー)です。

- |       |       |
|-------|-------|
| 石崎 紀子 | 桑野 百枝 |
| 細貝 文子 | 諸澤 信子 |
| 諸澤 澄子 | 桜井 和子 |



小林 みつひ



谷川 喜美江

## 文化の



敬称略



皆川 千恵子

### 押し花教室

(会員20人)

代表 菊地 たか子  
☎029-252-3083